



**太田** 改めまして、皆さん、こんにちは。ただいま御紹介をいただきました内閣府の大臣官房審議官で交通安全政策担当をしております太田でございます。よろしくお願いいたします。

平成22年度交通安全フォーラムの開催に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

まず、本日は、大変御多忙の中、このように多くの皆様に御参加をいただきまして厚く御礼を申し上げます。また、日ごろから交通事故防止に向けて御尽力、御指導、御支援を賜っておりますことを、この席をかりましてお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございます。

さて、本年11月15日、昨日現在の全国の交通事故による24時間以内に亡くなられた方は4,083人で、前年同期と比べまして73人の減少となっております。10月には、平成12年以来、前年比が一旦プラスに転じたこともあります。例年、年末にかけて増加傾向にあります交通死亡事故につきましては、このような意味から、昨年までかなり減少を見ておったわけではありますが、今ややその減少が止まりつつあるなという意味におきまして、大変厳しい情勢になっているのではないかと認識をしております。

また、いまだ年間91万名の方が交通事故で死傷されております。特に死者数に占める歩行者、とりわけ高齢者の割合が高いということは、大変憂慮すべきことだと考えております。政府としまして、先月公表いたしました第9次交通安全基本計画の

中間案において、平成27年までに交通事故24時間死者数を3,000名以下とし、世界一安全な道路交通を実現するという目標を掲げることといたしまして、高齢者や子ども、歩行者、自転車、生活道路の安全確保を初めとするさまざまな対策の充実強化を図っていくこととしております。世界一安全な道路交通の実現は容易なことではありません。今後とも、その大目標に向けて皆様とともに官民挙げて努力してまいりたいと考えております。そして、究極的には交通事故、そして交通事故で死傷される方のない社会というものを目指すべきものと思っております。

今年度の交通安全フォーラムのテーマは、開催地である北海道、札幌市と協議をいたしまして、北海道が実施する交通安全対策上の諸問題を踏まえまして、「冬の交通事故の減少を目指してー積雪期における交通安全を考えるー」と、いたしました。北海道を初め、降雪、路面凍結のある地域では、冬期間におきまして、スリップや視界不良等の原因による冬型特有の事故発生が憂慮されるところであります。積雪期の交通事故の減少を目指すには、安全施設、道路環境、交通情報の提供などの冬道の環境整備や排除雪に加え、冬道における運転者が必要な知識や技能の習得も不可欠なものと思います。

このたびの交通安全フォーラムでは、寒い地域における交通事故対策についての研究のほか、タイヤ工学や交通心理学などにおいて第一線で活躍される方々と北海道民の皆様にご参加いただき、積雪地特有の交通安全対策について知恵を絞っていただきたいと思っております。

最後になりましたが、本フォーラムの趣旨に御賛同いただき開催の御準備に取り組んでいただきました北海道や札幌市を初めとする関係者の皆様方には、心から敬意と感謝を表しまして、私のごあいさつといたします。

どうもありがとうございました。

## 北海道副知事 多田 健一郎



**多田** 御紹介を賜りました北海道副知事をしております多田でございます。本来ですと、高橋知事がこの場に参ってあいさつを申し上げるところでございますが、本日は東京、そして根室の方にちょっと所用があつて行っておりますので、大変申し訳ございません。私から高橋知事にかわって一言ごあいさつを申し上げたいと存じます。

本日は、何かとお忙しい中、皆様には御参加を賜りまして、平成22年度の交通安全フォーラムを北海道において、太田審議官の御出席のもとでこのように盛大に開催されますこと、心から感謝を申し上げます。開催に御尽力いただきました関係者の方々には、厚く御礼を申し上げるところでございます。

北海道も、もともと交通事故が大変多いところでございますが、北海道と、それから北海道警察、関係者皆さんで、私ども一生懸命交通事故の減少に向けて努力をしているところでございますが、現在、特に死亡者につきまして、全国ワーストワンというものを5年間回避を続けております。これの6年目もそのワーストワン脱出を目指すということで取り組んでいるところでございますが、北海道におけます交通事故の死者数、昨日の11月15日現在で178名の方が残念にもお亡くなりになっておりまして、これは1年前と比べますと6名減ってはおりますけれども、実は11月3日に全国ワーストワンということで厳しい状況になっております。一千数百万人の人口を抱える東京都よりも、北海道の方が交通事

故の死亡者数が多い、550万人の人口で半分以下なのに、同じだけの数の方以上の方が亡くなっておられるということで、大変憂慮すべき事態でございます。こういうことを受けて、翌4日には、高橋知事のもとで交通死亡事故多発非常事態宣言をいたしますとともに、北海道警察の本部長と連名で緊急メッセージを発表するなど取組みを進めております。皆様も、最近道路を走っておられますと赤色灯をつけたパトカーが随分とたくさん見られるのではないかと思います、こういった事態を踏まえてのものでございます。

また、これから北海道は本格的な冬を迎えますが、今年は2月から3月にかけて道東を中心に悪天候あるいは路面凍結のスリップなど、交通事故が、特に死亡事故が多発いたしまして、昨年よりも14名も多い方が犠牲になるなど、今年の冬の事故についても大きな課題が残ったところでございます。

こうした状況を踏まえまして、本日は「冬の交通事故の減少を目指して一積雪期における交通安全を考える」ということをテーマにフォーラムを開催することとなりました。各パネリストの皆様には、それぞれの体験や研究などを通して事故防止に向けた貴重な御意見をいただき、我々関係者の今後の安全対策に生かしていければ幸いであると考えておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

本フォーラムの開催を通じまして、交通事故の更なる減少が図られ、全国ワーストワンの6年連続回避、更には、昨年の数以上に更に交通事故死亡者が少なくなるよう努力をするということをここで申し上げます。皆様におかれましては、地域、職場、家庭等における一層のお力添えを賜りたいと思います。

終わりにになりましたが、本日お集まりの皆様のお健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、私からのごあいさつとさせていただきます。

本日はありがとうございました。

## 札幌市副市長 中田 博幸



○中田副市長 ただいま御紹介いただきました札幌市副市長の中田でございます。本来でございましたら、上田札幌市長がお伺いをし、ごあいさつをさせていただくところでございますが、本日出席ができません。かわりまして、私から一言ごあいさつを申し上げたいと思います。

皆様には、日ごろから札幌市の交通安全対策を初めといたしまして、市政のさまざまな分野に御理解と御協力をいただきまして、本当に心から感謝を申し上げます。

さて、先ほどお話がございましたように、私ども札幌市内における交通事故の発生件数や、あるいは交通事故によりけがをされた方は、昨年と同じ時期よりも減少しているところでございますが、事故死者数に関しましては、既に昨年の年間死亡者数25名を超えておりまして30名の方が命を落とされております。これからまさに本格的な冬を迎えようとしております。凍結した路面でございますとか、ブラックアイスバーンなどの危険な道路状況におきまして、死亡事故の発生が一層懸念をされているところでございます。

札幌市内では、平成8年でございますけれども、歩道をふさいでおります雪山に登ろうとして転倒いたしました小学生が、雪山から滑り落ちて、たまたま通りかかったトラックの下敷きとなって尊い命を失うという、本当に大変痛ましい悲惨な事故が発生いたしました。この事故を契機といたしまして、

地域や学校、そして区役所などで、除雪や交通安全などを総合的に相談し合う、連携し合う協議会が札幌市の各区に設置されました。その設置から10数年がたちましたが、現在まで同じような事故は起きておりません。

交通事故は、被害者は勿論のことでございますが、その周りの方たちや加害者の人生までも一瞬で狂わせてしまう、そういう悲惨なものでございます。本日の研究発表やパネリストによります意見交換をもとに、行政、関係機関を初め、道民、市民の方々一人一人が、交通安全について考え、知恵を出し合いながら交通事故の根絶を目指していきたいと考えております。今後とも、是非皆様方の御協力をお願いしたいと思っております。

結びになりますが、この交通安全フォーラムが、北海道、札幌市の冬の交通事故減少につながることを祈念いたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。ありがとうございます。